

道をつなげる 人がつながる

- 街路事業のストック効果 -
Stock Effects Pamphlet

発行: 全国街路事業促進協議会
発行月: 令和6年10月
会員数: 970自治体
URL: <https://www.gaisokkyo.jp>



ストック効果

継続的に、幅広く、中長期にわたって得られる効果

生活の質の向上効果

-主な効果事例-

病院へのアクセス性向上
交通分散と渋滞緩和
住宅地価の上昇



安全・安心効果

-主な効果事例-

まちの防災性向上
安全で快適な道路空間
生活道路からの交通転換



生産性向上効果

-主な効果事例-

雇用者数の増加
商業地価の上昇
経済活動の活性化



CASE01

帯広圏都市計画道路3・3・10共栄通外4整備事業

生活の質の向上効果 | 安全・安心効果 | 生産性向上効果

一本の大きな道が まちに豊かさを 運びます。

5.6kmの幹線道路の中で未整備区間だった1.6km。

道路の新設や、道路拡幅・両側歩道の設置を実施することで

利便性・安全性の向上につながり、

周辺には新しい施設が生まれました。



事業概要

事業名称：帯広圏都市計画道路3・3・10共栄通外4整備事業

事業箇所：北海道帯広市

事業延長：約1.6km

幅員：4車線区間：25.0m、2車線区間：20.0m

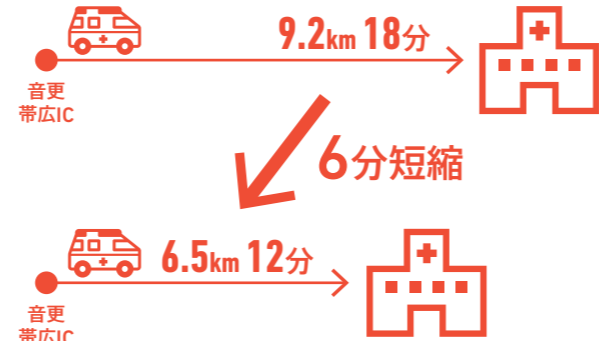
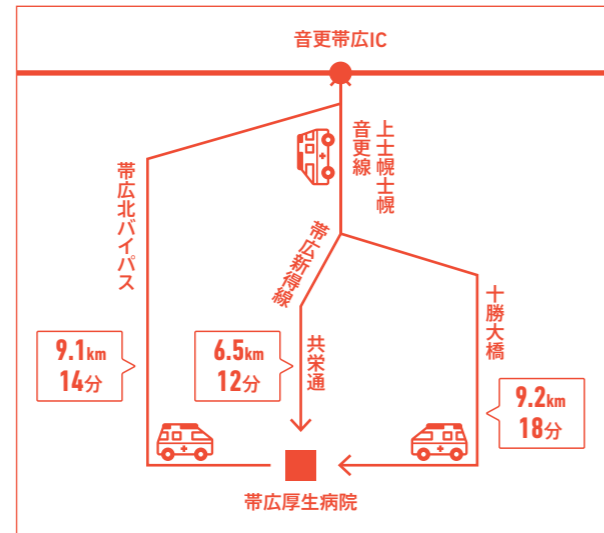
事業費：約22億円

事業期間：平成27年～令和3年

第34回 全国街路事業コンクール 特別賞受賞

事業効果

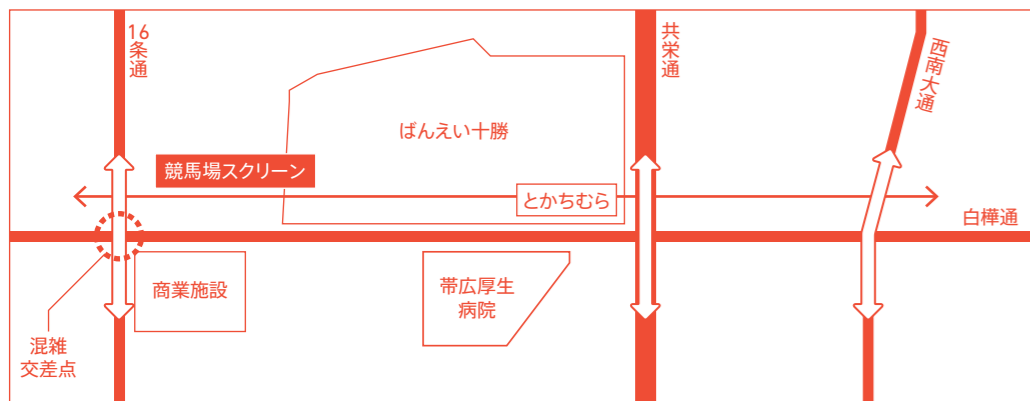
短縮された病院へのアクセス時間



本路線の整備により十勝医療の中心的役割を担う帯広厚生病院と、広域ネットワークを構成する高速道路インターチェンジ(音更帯広IC)をつなぐ新たな幹線道路が整備され、所要時間の短縮とダブルネットワークの強化が図られました。

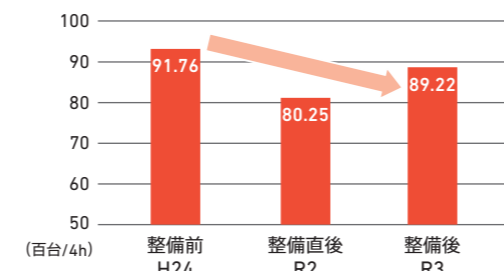
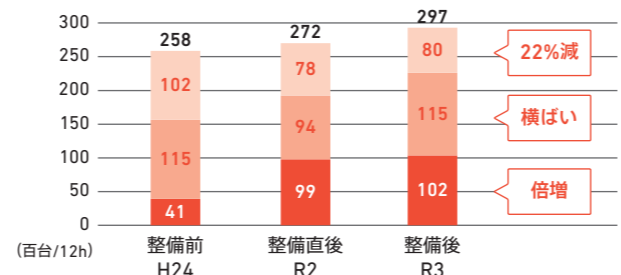
交通分散と渋滞緩和に貢献

本事業により南北の動線が新たに確保されたことで、地域間の交通が増加しています。また、本事業を契機に、農協連ビルやレストランが沿線に立地するなど、地域住民の利便性向上が図られました。さらに、並行する幹線道路での交通量が分散され、混雑箇所となっていた交差点の混雑緩和にも寄与しています。



競馬場スクリーン交通量
1.15倍

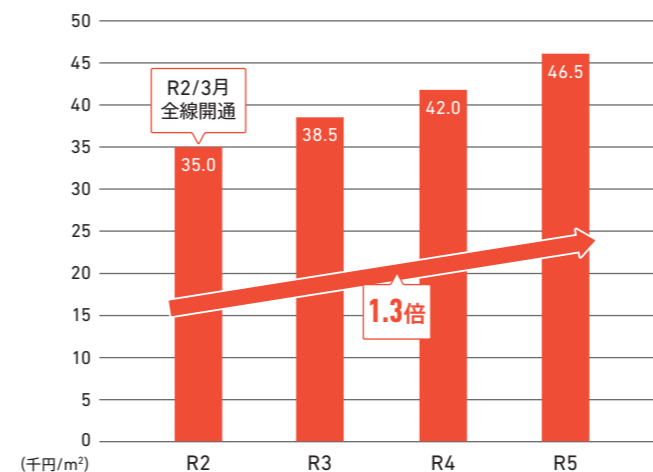
流入ピーク4時間交通量
250台減少



住宅地価の上昇

市街地の骨格を担う街路が誕生し、沿線の住宅地はアクセス性が向上し利便性が高い地域となったことから、地価が開通後3年で1.3倍まで上昇しました。

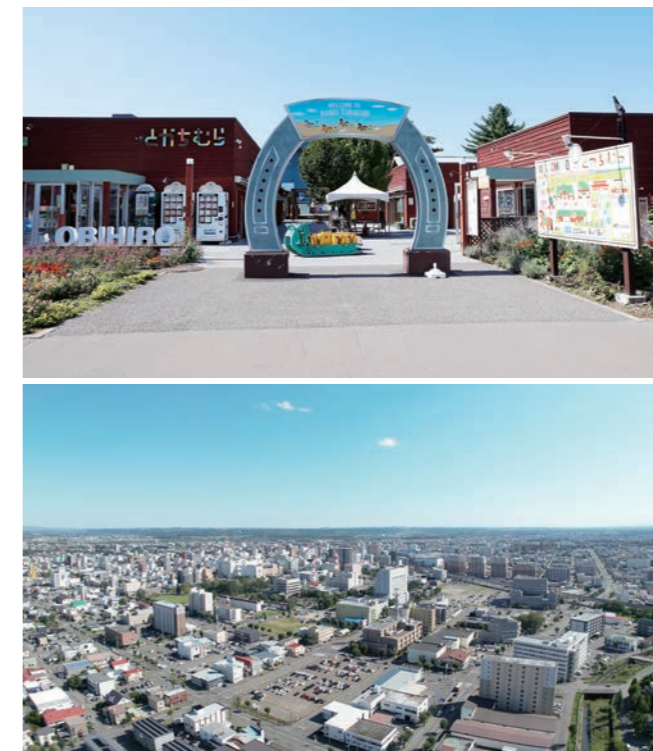
共栄通沿線住宅地 基準地標準価格の推移



安全な歩行者空間



広い両側歩道が整備され安全性が向上

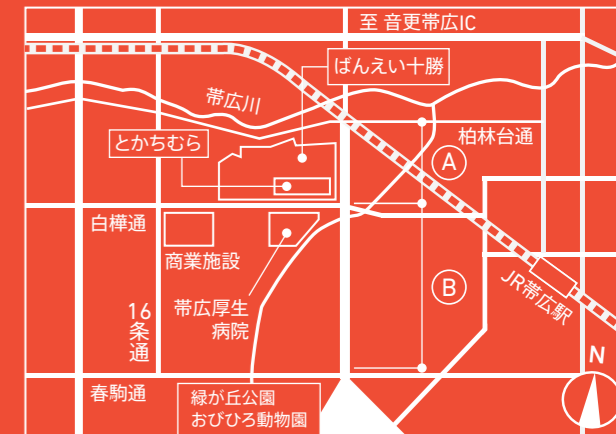


沿道施設の開発を促進



道路整備を契機に農協連ビルが新たに立地

活性化したまちをつくりだす一本の道



3・3・10号共栄通外4 L=1.6km

- ① 4車線新設整備区間 L=0.4km
- ② 2車線新設整備区間 L=1.2km

(都)3・3・10共栄通は、帯広市南部から動物園前を經由し、帯広競馬場、柏林台通、一般国道38号へ接続する5.6kmの幹線街路です。

本事業は、このうち春駒通から柏林台通へと至る未整備区間(1.6km)について、帯広競馬場内を貫く道路の新設や橋梁整備のほか、道路拡幅・両側歩道の設置を実施し、安全で円滑な道路交通を確保したものです。

当該整備区間周辺には、三次医療機関である帯広厚生病院や観光施設などが点在し、音更帯広インターチェンジから市内中心部までを南北に一直線で結ぶ重要な動線として、アクセス性・利便性の向上、さらには並行する幹線道路の混雑緩和にも寄与しています。また、本事業の完成により、当地域の長年の懸念であった市街地の分断が解消され、地元住民にとって利便性や安全性が格段に向上し、沿線の住宅地価が急上昇し、資産価値が向上しています。

まちを見守る道がある。 道が人とクルマの 安全安心をつくります。

鉄道により分断され、交通渋滞を引き起こしていた市街地。

連続立体交差事業に合わせて、鉄道下の幹線道路も整備することで、
市街地へのアクセス機能の向上や渋滞緩和、
歩行者の安全性確保に繋がりました。



事業概要

事業名称：都市計画道路3・4・535新潟鳥屋野線
事業箇所：新潟県新潟市
事業延長：819m
幅員：30m
事業費：約70億円
事業期間：平成18年～令和2年
第33回 全国街路事業コンクール 特別賞受賞

事業効果

災害に強く、景観も良い街

本事業で実施した無電柱化により、地震の際、電柱の倒壊等による道路の寸断を防ぎ、災害に強い道路ネットワークを構築。また、道路の見通しが良くなり、信号機や道路標識が見やすくなるなど、良好な景観形成にも寄与しています。

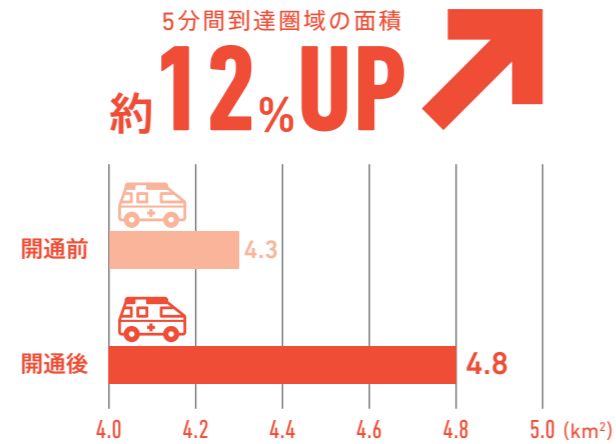


事業前

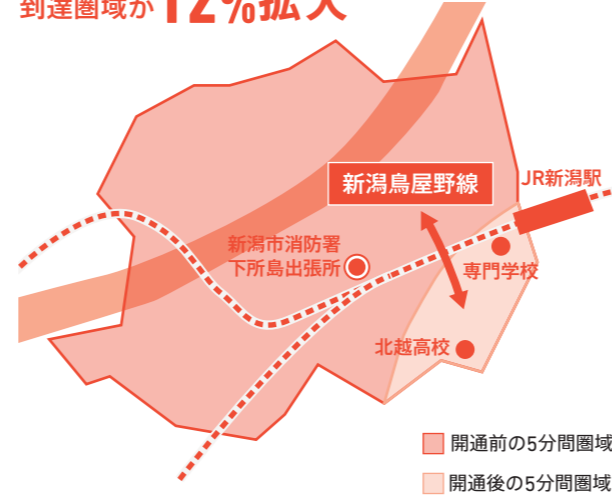
事業後

緊急輸送道路の整備

本路線の開通により、消防署から5分間の到達圏域が約12%拡大。第三次緊急輸送道路にも指定されており、無電柱化され広々とした道路空間が、災害時における避難行動や救命救急等を支え、地域住民の安全で安心な暮らしを守る重要な路線となっています。



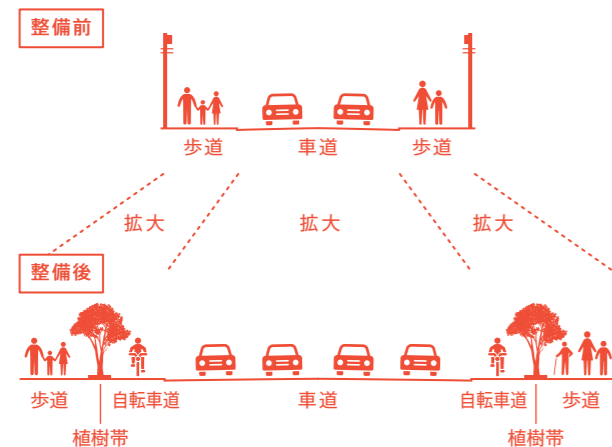
消防署からの5分間の到達圏域が12%拡大



5分間到達圏域：救急車が現場に到着するまでの時間が5分以内の範囲を指し、呼吸を停止して5分以内に蘇生措置を始めた場合、生存率が25%になる

安全がつづく道、歩道も空も広々と

無電柱化により歩道を最大限有効に使えるため、歩行者や車いす、ベビーカーを利用する人にも安全で利用しやすい快適な歩行空間を形成しています。



生活道路からの交通の転換

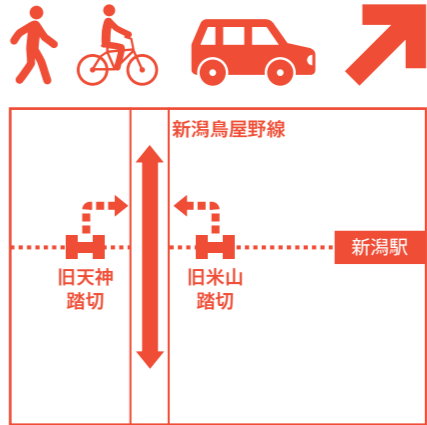
本事業により幹線道路が新たに完成したことで、周辺生活道路から幹線道路へ交通の転換が図られ、安全・安心なまちづくりに寄与しています。さらに、南北方向の総交通量は増加しており、南北市街地の連続性確保・アクセス機能の向上も図られました。

周辺生活道路(旧踏切)の交通量は...

	自動車類			歩行者・自転車		
	旧踏切	新潟鳥屋野線	合計	旧踏切	新潟鳥屋野線	合計
開通前 (H28.5.17)	10,249	0	10,249	4,134	0	4,134
	▼ 60%減		約1.5倍増	▼ 20%減		約1.5倍増
開通後 (R2.10.22)	3,740	11,725	15,465	3,370	2,978	6,348

新潟鳥屋野線

自動車類：11,725台/14h
歩行者類：2,978人・台/14h



安全で快適な自転車ロード



自転車道は対面通行のため自転車用信号機を設置

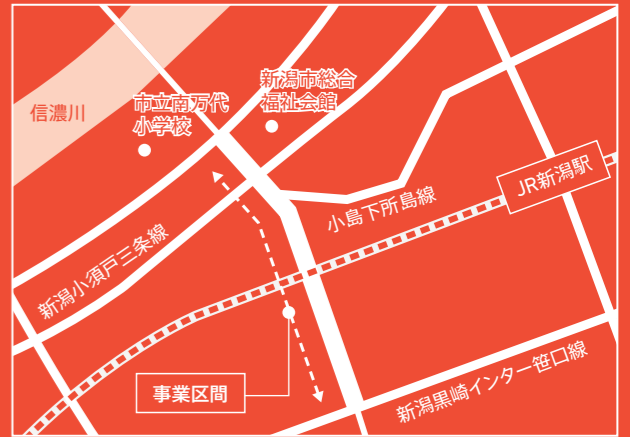


交通規制看板のほか歩車分離標識を設置



歩行者と自転車が完全分離。見通しもよいため安心して通学させられる。

人も車も自転車も心地よいと感じる新しい道



新潟駅周辺地区は、鉄道によって市街地が分断され、周辺道路において踏切を起点とした慢性的な交通渋滞が発生していました。本事業は、新潟駅付近連続立体交差事業と連携を図りながら、鉄道高架下を横断する幹線道路の整備を行ったもので、整備により新潟駅周辺地区の交通渋滞が解消され、南北に分断されていた市街地の一体化やアクセス機能の向上が図られました。また、本路線は第三次緊急輸送道路や南万代小学校の通学路にも指定されており、無電柱化を実施することで、災害に強い道路ネットワークの構築が図られ、見通しが良く安全で、良好な景観も形成しています。さらに、自転車道の設置により歩行者と自転車を完全に分離し、自転車用信号機や各種標識を設置することで、すべての通行者にとって安全・安心して快適な街路空間を創出しています。

何気なく 訪れることのできる駅、 そこは、まちの玄関です。

東西に分断され、道路も狭かった熊本駅周辺市街地。
道路と鉄道との立体交差化を行い、
駅を中心にまちが一体化することにより、
新たな雇用や経済活動が生まれました。



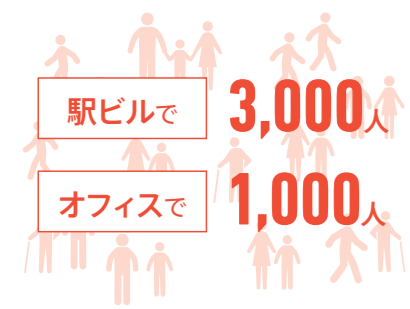
事業概要

事業名称：JR鹿児島本線等熊本駅付近連続立体交差事業
事業箇所：熊本県熊本市
事業延長：JR鹿児島本線 約6km、JR豊肥本線 約1km
事業費：約626億円
事業期間：平成13年～平成31年
第32回 全国街路事業コンクール 優秀賞受賞

事業効果

雇用者数が増加

連続立体交差事業を契機とした駅ビル等の再開発や高架下空間を活用した商業施設が開業したことで、高架化区間沿線地域で新たな雇用が創出されました。



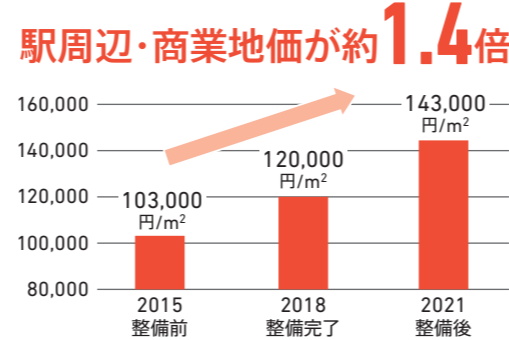
JR熊本白川ビル



肥後よかモン市場

まちの魅力が向上

熊本駅周辺地域では、連続立体交差事業を契機とした再開発が進み、都市としての魅力が向上し、商業地価が完成前後で比較すると約1.4倍となっています。



経済価値のあるまちへ

連続立体交差事業への建設投資による経済波及効果に加え、商業施設の開業がもたらす経済波及効果を加味すると、本事業による経済波及効果は、約1,000億円にも昇ります。

建設投資の経済波及効果額

710億円

※熊本県産業連関表を用いて算出



アミュプラザくまもと

商業施設の経済波及効果額

353億円

※熊本県産業連関表を用いて算出



JR熊本春日南ビル

無くなった交通渋滞と踏切遮断

15か所の踏切がなくなったことで、交通渋滞・踏切事故が解消されました。例えば、本妙寺踏切では、最大渋滞長が600m、1日あたりの踏切遮断時間が174分ありましたが、すべて解消され、バス運行の定時性が向上するなど、周辺交通の速達性・アクセス性が向上しました。

最大渋滞長



遮断時間/日



事業前



事業後



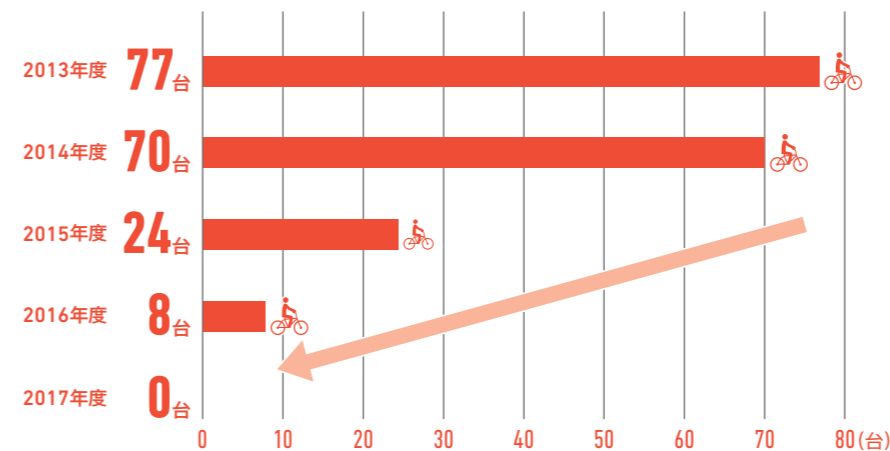
高架下からつくられるまちの賑わい

鉄道の高架下空間を最大限有効活用するため、オフィスのみならず、駐輪場や広場などを整備し、利便性向上、にぎわい効果の更なる発現に寄与しています。



放置自転車ゼロへ

新たに整備した駐輪場により、駅周辺の放置自転車が完全に解消されました。



上熊本駅駐輪場

東西がつながり ひとつになった街が 新しく動き出す



熊本駅周辺地域は、鉄道により市街地が東西に分断され、市街地の一体的発展が停滞していました。

本事業は、九州新幹線事業と同時に、熊本駅や上熊本駅を含む延長約6kmの区間についてJR鹿児島線及び豊肥本線を高架化し、市街地の一体化や熊本駅周辺地域の都市機能強化を図り、「熊本の陸の玄関口」としてみさわしい空間を創出しました。

本事業を契機に駅ビルや大型商業施設が開業し、利便性が向上したに加え、新たな雇用も生まれました。

また、高架化前にあった15か所の踏切を除却したことで渋滞が解消され、東西の往来がスムーズになり、周辺地域の交通の円滑化が図られました。

本事業と連携して、熊本駅白川口駅前広場の整備が行われるなど、交通結節点機能の強化や賑わいの創出にも寄与しています。